

平和館ミニ企画展 「国策紙芝居展～戦争へいざなう言葉と物語～」を開催します

近代において戦争は国力の全てを戦争に集中する「総力戦」で戦われました。国民生活にも当然影響があり、政府は国民を説得し理解と協力を求める必要がありました。その宣伝（プロパガンダ）に使われたメディアの一つが紙芝居でした。

今回のミニ企画展では、神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センターが所蔵する貴重な「国策紙芝居」の複製を中心に展示します。

「国策紙芝居」が伝えた戦争の「正しさ」や国民の心構えを示す言葉や物語を通じて、当時の模範的な国民像を明らかにするとともに、メディアの果たす役割の重要性と与えられた情報を読み解く能力（メディア・リテラシー）の大切さを考える機会を提供します。

- 1 期 間 令和6年1月7日（日）～2月12日（月・振替休日）9時から17時まで
- 2 休 館 日 毎週月曜日（1月8日・2月12日を除く）、1月9日（火）、1月16日（火）
- 3 会 場 川崎市平和館 屋内広場 ※入場無料
- 4 内 容 「国策紙芝居」（複製）を12作品約190枚展示します。
- 5 イベント 紙芝居実演 2月3日（土）
 - (1) 午前の部 10時30分～（演目）『ナカヨシ バウクウゴウ』『時計は生きている』『撃ちてし止まむ』『閻魔の序』
 - (2) 午後の部 13時30分～（演目）『オモチャの出征』『第二常陸丸』『アングロ島攻撃』『爪文字』
- 6 主 催 川崎市
- 7 協 力 神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター、昭和館、市民紙芝居・あさお
- 8 アクセス JR・東急「武蔵小杉駅」、東急「元住吉駅」から徒歩約10分

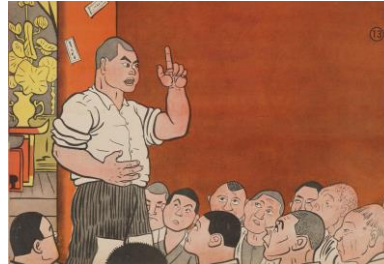
（展示する紙芝居の一例）



フクチャントチョコキン



産業報国



総意の進軍 翼賛選挙貫徹のために